

平成 28 年度 次代のまちづくりプロジェクト活動報告書

平成 28 年度次代のまちづくりプロジェクトチーム（以下、まちプロ）は、メンバーを庁内掲示板にて募集し、応募のあった以下の 7 名に対して、任命式を行い発足しました。任命式以降は毎月第 2、4 週の木曜日の業後 5 時 30 分より集まり定例会を行い、様々なプロジェクトについて、議論を重ねてきました。

平成 28 年度の活動概要については、以下のとおりです。

○ メンバー

| | 所属課 | 氏名 | 性別 | 備考 |
|---|-------|-------|----|----------|
| 1 | 地籍調査室 | 大植 貴裕 | 男 | 経験者（H25） |
| 2 | | 岡野 秀紀 | 男 | H25 より継続 |
| 3 | 生涯学習課 | 大家 啓徳 | 男 | H27 より継続 |
| 4 | 建設課 | 中井 將之 | 男 | |
| 5 | 住民福祉課 | 尾鼻 佐規 | 女 | |
| 6 | 教育総務課 | 山口 佳子 | 女 | |
| 7 | 税務課 | 坂上 弘祐 | 男 | 新規採用職員 |

- 事務局 2 人（中崎、柴森）

○ 活動内容の紹介

| | 主な活動 | 活動回数 |
|------|------------------------|------|
| 5 月 | 任命式 定例会 | 2 |
| 6 月 | 定例会 定例会 | 2 |
| 7 月 | 定例会 定例会 | 2 |
| 8 月 | 定例会 企画公室との協議 | 2 |
| 9 月 | 定例会、通信発行 定例会 定例会 | 3 |
| 10 月 | 定例会、通信発行 | 2 |

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| | 中間報告会 | |
| 11月 | 定例会 視察研修 | 2 |
| 12月 | 定例会、通信発行 定例会 | 2 |
| 1月 | 視察研修報告会 定例会 定例会 | 3 |
| 2月 | 定例会 定例会 | 2 |
| 3月 | 企画公室との協議 最終報告会 | 2 |
| 合計 | | 24 |

○島根県邑南町への視察研修

子育て支援についての注目が高まっているいま、子育て支援及び移住・定住支援に力を入れているまちに、人口増加についての新しい発想と見識を学びに行きました。

【視察内容】

「邑南町における定住対策・日本一の子育て村を目指す取組について」

・日本一の子育て村構想

出生率が国の平均を上回っている邑南町。子育て世代から評価されている取り組みについて。

・移住定住支援

定住支援コーディネーターの取り組み及び移住者のケアについて。

・A級グルメ構想

移住者やUターン者の雇用を食と農から考えた取り組みについて。

・邑南町観光協会

食の学校及び農の学校を見学。

○ まとめ

今年度は、初めてまちプロに参加するメンバーが多く、まちプロ経験者がサポートしていく形になり、相互のスキルアップに繋がったのではないかと感じます。また、元保育士の職員がメンバーにいたことから、今までと違った視点からかつらぎ町の活性化について調査・検討出来たと思います。

○ 平成 28 年度提案プロジェクト

| | プロジェクト名 | ページ |
|----|---------------------------|-----|
| 1 | リユースグッズでママパパ応援 | 4 |
| 2 | 交流・移住・定住人口全部まとめてアッププロジェクト | 5 |
| 3 | こころざしシェアタウン | 7 |
| 4 | 長期総合計画イラスト化大作戦 | 8 |
| 5 | 笑顔をお届け！スマイルサンタプロジェクト | 9 |
| 6 | 備品を必要最低限に | 11 |
| 7 | ちゃりんこイノベーション | 12 |
| 8 | 観光情報リトルプレス創刊 | 14 |
| 9 | オフィスの整理整頓・習慣の見直し | 17 |
| 10 | 住民満足度の見える化 | 19 |
| 11 | 世界的スポーツイベントの教育への活用 | 20 |
| 12 | かつらぎいいね！っとわーくの構築 | 25 |
| 13 | フルーツ総括マーケット | 26 |
| 14 | 花園・花いっぱい計画 | 27 |
| 15 | かつらぎ町産ワインをつくる | 28 |
| 16 | フルーツ王国のブランディング | 29 |
| 17 | 目指せ！ウェルカムファミリーの自治体 | 30 |
| 18 | 子育てしやすい町づくり「みんなが集まる公園づくり」 | 35 |
| 19 | ママ MAP | 38 |
| 20 | 片付けのやり方教えます！ | 41 |

提 案 書

| | |
|---|-----------------|
| プロジェクト名：リユースグッズでママパパ応援 | 提案者：山口 佳子・尾鼻 佐規 |
| 1. ねらい・目的 <ul style="list-style-type: none">・これから子育てをしていく上での家庭の経済負担の軽減・かつらぎ町の子育て支援を充実させる為に、リサイクル活動にて子育て応援を行い、子育て世代への支援のPRを行います。 | |
| 2. 実施事項 <ul style="list-style-type: none">・ベビーベッド・チャイルドシート・ベビーカー等、取り扱うものを断定して、回収。 (汚れが目立つものや、破損のひどいものは受け付けられないことも伝える。)・提供する側もされる側も、かつらぎ町在住の人限定。・事前連絡か申請書にて受付。 | |
| 3. 詳細内容 <p>かつらぎ町で生まれ育っていく子ども達を大切に守る為に、リユース活動にてベビーグッズの貸し出し(もしくは譲り渡し)を行えば、保護者にも経済的に優しく、使われなくなったグッズが行き返ります。</p> <ul style="list-style-type: none">・子育てするには、赤ちゃんを守る為に必要なものがたくさんあり、お金がかかるイメージです。リユース(再利用)をすることで、少しでも保護者の手助けになれば、経済負担が軽減され、違う面で赤ちゃんに手がかけられるかもしれません。 <p>【PR方法】</p> <ul style="list-style-type: none">・ホームページや広報にて、貸出し方法・回収できるものできないものの表示を行い、何でもかんでも出してもいいということではないことを伝えます。 <p>【対象となる物】</p> <ul style="list-style-type: none">・ベビーベッド・チャイルドシート(ベビーシート)・ベビーカー・イス等 | |
| 4. コスト・予算等 <ul style="list-style-type: none">・リユースなので、お金はかからない。 | 5. デメリット |
| 6. スケジュール | |

提 案 書

| | |
|---|--------------------|
| プロジェクト名：交流・移住・定住人口 全部まとめてアッププロジェクト | 提案者：大植 貴裕 岡野 秀紀 |
| <p>1. ねらい・目的</p> <p>かつらぎ町への移住・定住人口を増やすには、まずは、かつらぎ町を知ってもらうことが第一歩だと考えます。全国的に人気のあるクラフトフェアを実施することで、かつらぎ町への観光客を増やし、たくさんの人に町を見て知ってもらうことを目指します。さらに、同イベント・町内既存イベントにおいて、移住者向けブースを設置することで、観光客→移住・定住への流れを作り、かつらぎ町への人口増加を図ります。</p> | |
| <p>2. 実施事項</p> <p>①クラフトフェアの開催</p> <p>②移住者向けブースの設置</p> | |
| <p>3. 詳細内容</p> <p>〈なぜクラフトフェアか?〉</p> <p>かつらぎ町の人口を増やすには、特に若い世代にまずは町のことを知ってもらうことが大事だと考えます。かつらぎ町で年間様々なイベントを行っていますが、“若者”をターゲットにしたイベントは少ないと感じます。そのため、若者に人気のある・魅力を感じてもらえるイベント「クラフトフェア」の開催を提案します。</p> <div data-bbox="213 1312 1385 1641" style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"><p>《補足》C t o Cビジネスの発展</p><p>インターネット・SNS・お買いものアプリ等の発達により、誰でも簡単に手作りの品を販売・購入できる時代になりました。また、世界的に見ても、手作りの品を個人間で売買をするC t o Cマーケット市場は近年大きく成長しているといえます。同様に、手作りの品を販売するクラフトフェアも人気で、今後この流れはさらに大きくなるものだと考えられます。</p></div> <p>① クラフトフェア (メリット)</p> <ul style="list-style-type: none">・若者に、かつらぎ町に来てもらえる・知ってもらえる機会となる・定期的開催することで、町内からクラフト作家が誕生…主婦などがクラフト作家として活動することも→所得増・起業へと繋がる | |

② | 移住者向けブース（メリット）

祭り等のイベント時に移住・定住希望者向けのブースを設置し、田舎暮らし推進地域の受入協議会の方にもご協力願ひ、観光客を移住・定住人口増に繋げます。

- ・ 田舎暮らし推進地域の存在を PR 出来る。
- ・ 交流だけで終わっていた人を、移住・定住に繋げる機会になる。
- ・ イベント内で行うことで、気軽に立ち寄れる。

4. コスト・予算等

テントなどの設営費、広告費

5. デメリット

6. スケジュール

【添付書類】

- ・ (参考資料) クラフトフェアの様子



提 案 書

| | |
|--|-----------------|
| プロジェクト名：こころざしシェアタウン | 提案者：中井 將之、坂上 弘祐 |
| <p>1. ねらい・目的</p> <p>かつらぎ町は面積が広く、全域を整備するとなると莫大な費用と時間がかかる。そのため、空き家が多くある地域（小規模な範囲）を選定し、空き家に付加価値（仕事場、共有スペース等）をつけて提供する事で、移住者の増加を図る。</p> <p>また、ターゲットを限定し、似た思考を持った人が集まるようにし、エリアを限定・共有スペースを設ける事でコミュニケーションが生まれやすい環境を作る。</p> <p>これらにより、一人ではなく仲間がいる事で移住を考える敷居が低くなり、移住後も楽しく生活する事で、長期居住を促す。</p> | |
| <p>2. 実施事項</p> <p>① エリアの選定</p> <p>② 入居者の条件の設定</p> <p>※仕事場（作業スペース）を提供すれば就労可能なものに限る （仕事をもって移住、起業、開業等、町内の雇用に頼らないもの）</p> <p>③ 住宅環境の整備（リフォーム等）</p> | |
| <p>3. 詳細内容</p> <p>① 空き家が多い（密集している方が望ましい）地域を小規模な範囲でエリアを設定する。</p> <p>② エリアの規模や環境、空き家の戸数等の条件をもとに活用方法（住居・ショップ・アトリエ・事務所・共有スペース等）を検討し、入居者の条件を設定する。</p> <p>③ 必要となる設備を整備する。</p> <p>（入居者募集時に設備に関するアンケート等を実施し、入居者確定後にリフォームを実施する事で、ムダなくニーズに答える事ができ、コスト面のリスクを低減できる。）</p> | |
| <p>4. コスト・予算等</p> <p>・リフォーム、リノベーション費用</p> | <p>5. デメリット</p> |
| <p>6. スケジュール</p> | |

提 案 書

| | |
|--|----------|
| プロジェクト名：長期総合計画イラスト化大作戦 | 提案者：大家啓徳 |
| <p>1. ねらい・目的</p> <p>今後、かつらぎ町がどんな町になっていくのか？ 「かつらぎ町はこんな町になります！」というかつらぎ町の将来像を子どもから大人まで幅広く町民に伝え、理解してもらうことで、行政への信頼度の向上を目指す。</p> | |
| <p>2. 実施事項</p> <ul style="list-style-type: none">・今後、整備する予定の施設、もしくは町が整備していきたいと考えている施設を簡単なイラスト風の地図に落とし込み、かつらぎ町の将来像として役場の入口付近に掲示し、来庁された方に見てもらう | |
| <p>3. 詳細内容</p> <p>①将来像を伝える必要性</p> <p>「自分たちが生活する町がこの先どのようになっていくのか？」 町民の方にとって、かつらぎ町の将来像が不透明であれば、行政に対して不信感を抱く原因になります。しかし、行政が「このような町を目指します！！」と明確に提示することによって、現在持っている不満も「○年後には解消する！」と我慢できるようになり、行政への信頼感につながるのではないのでしょうか？</p> <p>②現状の取り組み</p> <p>現状では、第4次長期総合計画において、町民向けにかつらぎ町の将来像が提示されています。しかし、ページ数が多く、難しい言葉も多いため、読んで将来像をイメージできる人は限られています。また、イメージできる人であっても、読むにはまとまった時間が必要となるでしょう。</p> <p>③「読む長計」から「見る長計」へ</p> <p>長期総合計画に記載されていたり、町長がゆくゆくは作りたいと考えているハード事業と主要なソフト事業だけに絞り、1枚で見ることが出来るイラスト風の地図にし、入口付近に掲示することで、多くの人に見てもらうことが出来ます。その上、この町の将来像が大人から子どもまで多くの人にイメージしてもらうことが出来るようになり、かつ、イメージするのにまとまった時間も不要となります。</p> | |
| 4. コスト・予算等 | 5. デメリット |
| 6. スケジュール | |

提 案 書

| | |
|---|----------|
| プロジェクト名：笑顔をお届け！スマイルサンタプロジェクト | 提案者：大家啓徳 |
| 1. ねらい・目的 小さい子どもがいるご家庭や地域の若者に町や地域への帰属意識を持ってもらうこと 地域の若者に「地域での子育ての重要性」を感じてもらうこと 子どもやその両親⇔若者（18歳～30代が目安）⇔高齢者 という世代間の交流 | |
| 2. 実施事項 ・クリスマスに若者(18歳～30代の人)を募集し、サンタクロースの衣装をしてもらいます。地域の子どもがいるご家庭や高齢者の方をサンタクロースとして訪問し、事前に預かっておいたクリスマスプレゼントをお届けします。 | |
| 3. 詳細内容 ○概要 サンタさんは本当にいないのかな？と思出す子どもたちにお父さん、お母さんもいる状況の中で、知らない人がサンタクロースとしてプレゼントを届けることで、「サンタクロースは本当にいるんだ！！」と夢と笑顔を届けます。 また、地域の高齢者施設にも出向いて「高齢者の方々⇔若者」という交流も行います。 若者にお届けに行ってもらうことで、「子どもやその両親⇔若者」という交流にもつながり、若者には「地域での子育ての重要性」を感じてもらえます。 1 スマイルサンタプロジェクト実行委員会の発足 9月ごろにスマイルサンタプロジェクトに協力してくれる団体(商工会、青年団、自治区、農大生、町内企業等)を集め、スマイルサンタプロジェクトの実行委員会を発足します。(9月初旬) 2 小さい子供がいるご家庭・高齢者施設・サンタになってくれる若ものの募集 10月末ごろから小さい子供がいるご家庭にクリスマスにプレゼントのお届けを希望するご家庭を募集します。 また、実行委員会に所属してもらう方にはもちろんサンタになっていただきますが、そういった団体に所属しない一般の若者にもサンタになりたい人がいないか募集します。 (10月末ごろ～12月初旬) 3 事前打ち合わせ お届けに行くご家庭の子どもの名前やプレゼントの中身、登場時の演出の希望など、ご家庭から応募時に聞いておいた情報をサンタクロースをしてくれる方に提供し、サンタクロース | |

としてお届けをする際の模擬演習をする。(12月24日1週間前)

4 クリスマスイブ当日にプレゼントをお届けする(プレゼントはご家庭で用意してもらう)

クリスマスイブの夜にサンタさんにお届けに行ってもらう。家に近づいたら、ご家庭に連絡し、プレゼントを預かる約束の時間になったら、チャイムを押してあたかもサンタさんが持ってきたようにプレゼントをお届けする。

4. コスト・予算等

チラシの印刷費

サンタ服購入費(1着2000円ほど)

5. デメリット

6. スケジュール

詳細内容を参考

提 案 書

| | |
|---|-----------------|
| プロジェクト名：備品を必要最低限に | 提案者：中井 將之 |
| 1. ねらい・目的 <ul style="list-style-type: none">職員ひとりひとりがコスト意識を持って日々の公務に取り組む事で、用紙や文房具等の備品のムダを無くし、備品等にかかる費用を削減する。 | |
| 2. 実施事項 <ul style="list-style-type: none">メールや掲示板（電子媒体）を活用。使用用途に応じた印刷。文書保管等をデータファイル化し、ペーパーレス化を推進する。備品倉庫の整理整頓。文書等による職員への意識付け。 | |
| 3. 詳細内容 <ul style="list-style-type: none">資料の回覧を紙ではなく、メールや掲示板を活用する事で用紙の削減できる。メールや掲示板にも既読確認機能があるため、重要度の低い回覧物であれば活用可能と考える。基本を両面印刷とする。また、個人保管用等であれば2アップ・両面・白黒印刷とするなど用途に応じた印刷設定を行う。（極力、書体は明朝体を使用する） また、工事入札のコピー用書類も両面印刷（もしくはデータファイル化）としていいのではないかと考える。文書整理、保管を紙媒体ではなく、電子媒体とする。あわせて整理方法をルール化する。在庫管理を徹底し重複購入を防止するために備品倉庫を整理整頓する。 （使用頻度の低い備品は一括管理し、設備予約機能を使用する）上記のような事項を実践するかどうかは個人の意識によるところが大きいため、組織全体として取り組むのであれば、文書等により職員に意識付けする事が必要と考える。 | |
| 4. コスト・予算等 | 5. デメリット |
| 6. スケジュール | |

提 案 書

| | |
|--|--------------------|
| プロジェクト名： ちゃりんこイノベーション | 提案者：坂上 弘祐 中井 將之 |
| 1. ねらい・目的 自転車を利用する人のための環境整備と、情報を提供し交流人口・観光客の増加を図る。 | |
| 2. 実施事項 ・かつらぎ町独自のサイクリングコースを設定する ・駐輪場の環境整備 ・レンタサイクルサービスの提供(天野地区) | |
| 3. 詳細内容 ・県がサイクリングロードを設定していたり、ロードバイクが流行していたりと自転車がブームになってきている。 その中で、かつらぎ町を自転車を快適に利用できる町にしていくことで観光客の増加をめざす。 ・自転車はガソリンなど燃料を使わないので環境にやさしい。無理なく簡単にできる運動で健康にもよいため、メタボなど現代社会が抱える健康問題の対策にもなる。 ・かつらぎ町内の観光名所やフルーツ狩りができるスポットは1か所に集中しておらず点在しているため、それらのスポットを巡れるような町独自のサイクリングコースを設定する。 ・町外から自転車に乗って来る人のためにサイクリングコースや公共施設、観光名所、休憩のできる店などの情報を載せた地図をつくる。かつらぎ町を通り道と考えることを防ぐために、公共施設以外にも立ち寄ってもらえるような店などの情報を載せる。 載せるにあたって店側の許可をいただくことが必要。 ・道の駅等にロードバイク駐輪用のラックを設置することで、より快適に利用してもらう。 ・駅の駐輪場に屋根を設置する。 駐輪場ではない場所に自転車が停められていることがあり、車の駐車スペースの邪魔になっていたり、歩行者の妨げになっていることがあるので、そのような自転車をなくすために駐輪環境を整備し駐輪場に停めるよう促す。駐輪マナーの向上を図る。 ・天野地区に観光に来られた方々に自転車を貸出し交通手段として利用していただき、車での移動では感じられない豊かな自然や爽快さを感じていただく。 観光協会と協力し天野の里や産直物産販売所ようよってなどにレンタサイクルをおいていただく。 放置自転車等で使うことが出来そうな自転車をレンタサイクル用に有効活用する。 | |

| | |
|--|----------|
| 4. コスト・予算等 ・ レンタサイクルの自転車の購入費用 ・ 駐輪場の屋根、ラックの設置費 | 5. デメリット |
| 6. スケジュール | |

【添付書類】

- ・ ロードバイク駐輪用ラック



提 案 書

| | |
|--|-----------|
| プロジェクト名：観光情報リトルプレス創刊 | 提案者：岡野 秀紀 |
| 1. ねらい・目的 素通りせず、かつらぎ町に足を止めてもらうための情報発信の一環として、町外向けの観光広報誌を発行し、かつらぎ町ファンの獲得を目指す。 | |
| 2. 実施事項 ○幅広くではなく、一つのことに特化した小冊子を作成。(ex. 古民家カフェ、イベント等) ○主として西PAで配布してかつらぎ町に立ち寄ってもらえるようにする。 ○メインターゲットはSNS等をあまり利用していない層とする。 | |
| 3. 詳細内容 1 かつらぎ町の観光分野の情報発信が抱える課題 ○かつらぎ町には丹生都比売神社やフルーツという強い観光資源があるが、まだまだ未発掘の観光資源は残っていると考えられる。しかし、網羅的に作成するマップ等ではどうしても強いところに目が向いてしまうので、小さい観光資源をPRする方法があまりないのが現状の課題だ。 2 小さい観光資源に特化したリトルプレス（小冊子）作成で課題解決を図る ○先の例でも挙げたが、近年古民家カフェ等の知る人ぞ知る小さい観光資源が増えつつある。 ○カフェ等に限らず、祭り等のイベントやスポーツの大会等の特集しても面白いと思う。 ○小さい観光資源に特化した小冊子を作成することで、今まで眠っていた観光資源から情報発信が可能になり、課題解決に向けて動きが出る。 3 メリットについて ○新たな観光資源の発掘で、より多くの観光客が訪れ、かつらぎ町ファン獲得率が上がる。 ○町に足を止めてもらうことで、移住・定住の候補になる可能性も生まれてくる。 ○町内に移住して頑張ってくれている個人経営のお店の応援に繋がる。 4 配布のメインターゲットについて ○メインターゲットは、SNS等を主な情報源としていない人達とする。 ○具体的には、定年退職等でリタイアして旅行に来ている老夫婦等 ○サブターゲットとしては旅行好きな女性やファミリー等、移住・定住が期待できる層とする。 ○10代20代は紙媒体の情報になじみが薄いと判断し、基本的にはターゲット構想外とする。 (内容によっては手にとってくれるかもしれないが) | |

| | |
|--|--|
| <p>4. コスト・予算等</p> <p>○デザイン料や印刷料金。</p> <p>○お店の場合はオーナーの協力も不可欠(可能な限り金銭的協力は避けたいところだが)</p> | <p>5. デメリット</p> <p>○費用対効果について</p> <p>現状他のパンフレットは好評とのことなので、余ることはなく、印刷物自体は手にとってもらえると予想されるが、実際にどれほどの効果が発揮されるかどうかはわからない。</p> |
| <p>6. スケジュール ex. カフェ特集の場合</p> <p>○デザイナーを探す(デザインが最も重要、紙媒体は情報だけでなく「ものづくり」でもある)</p> <p>↓</p> <p>○紹介するお店の選定</p> <p>↓</p> <p>○お店のオーナーの許諾を得る、取材をする。</p> <p>↓</p> <p>○レイアウトデザインを決めて、写真等の素材を撮らせてもらい、編集・印刷</p> <p>↓</p> <p>○好評なら不定期刊行物として、継続していく。</p> | |

【添付書類】

- ・リトルプレスイメージ

天野凡愚 | amano bon gout

手打ちそば・喫茶

<http://sobakiri-bong.com/>



ショップカードや店内のインテリアやメニューに至るまで、店長のごだわり、手作りの感があふれている。



〇メニュー

| | |
|----------|--------|
| 基本メニュー | 2,500円 |
| 凡愚スペシャル | 4,000円 |
| あまのスペシャル | 6,000円 |

提 案 書

| | |
|--|-----------------|
| プロジェクト名： オフィスの整理整頓・習慣の見直し | 提案者：岡野 秀紀、尾鼻 佐規 |
| 1. ねらい・目的 整理整頓と習慣作りの見直しを通じて、誰が見ても気持ちの良いオフィス空間の創出と行政サービス全体の質の向上を目指す。 | |
| 2. 実施事項 ○整理整頓の実施と維持する習慣作り。 <ul style="list-style-type: none">・きっかけ作りとして「自分のデスクを整理する日」を設ける。・毎日行う整理整頓のガイドラインを作成し、実施することで習慣化する。 ○デスクでの飲食習慣の見直し。 <ul style="list-style-type: none">・デスクでの飲食は書類を汚す、パソコンにこぼすといったリスクも抱えているので、可能ならレストスペースのある課を拡大。・スペース的に厳しい場合は、パソコンや書類を遠ざけてから飲む等心がけからはじめる | |
| 3. 詳細内容 1 整理整頓がなされていないデメリット <ul style="list-style-type: none">○経済的なデメリット ex. 買ったものを失くして二度買いする。○時間的なデメリット ex. 必要な資料がどこにあるかわからなくなる。○精神的なデメリット ex. 情報が分散して、作業に集中できない 2 課題解決に向けた実施事項 <ul style="list-style-type: none">○整理整頓と維持習慣づくり<ul style="list-style-type: none">・自分のデスクを大掃除する日を設けること。・整理整頓のガイドラインを作成し、実施することで維持していく。 上記2点の実施によりデメリットの解消、業務効率の改善を目指す。 | |
| 3 メリット <ul style="list-style-type: none">○デメリット解消により、業務がより捗る環境づくりに繋がる。○整理整頓されたデスクは清潔感・透明性を住民さんにも与え、好印象を与える。○書類の立て掛けがなくなることで、職員同士の顔が見え、コミュニケーション促進に繋がる。 | |

4 | デスクでのコーヒー休憩のデメリット

- 業務と休憩の境界が曖昧になる。
- 書類やパソコンにこぼす事故のリスクが伴う。
- 素早く適切な対応を期待するお客様目線で見ると、悪い印象を与える恐れがある。

5 | 課題解決に向けた実施事項

- お客様が居るときは対応にあたっていない職員も飲食を自重する。
- 書類やパソコンにこぼさない対策をしてから飲食する心がけをする。
- 可能ならレストスペース（目隠し板等）のある課を拡大する。

6 | メリット

- デメリット解消により、業務効率の上昇及び事故のリスク回避が可能となる。
- お客様目線で見たらどうなのか？という視点の養成、獲得に繋がる。

4. コスト・予算等

- 既存の目隠し板等の備品で出来る範囲で実施したい。

5. デメリット

- 「整理整頓も業務」として残業を行うということが起きるかもしれない。これは好ましくないため、あくまで日々の業務時間中に行う習慣作りに留めなければならない。

6. スケジュール

- デスク周りの整理・整頓の日の制定が比較的着手しやすいのでそこからスタート。
↓
- 総務課、もしくはまちプロメンバーで研究・検討したガイドラインを作成して実施してもらい、習慣化していく。

- 自分のデスクでの飲食の際こぼす等の事故防止の工夫、見られているという意識づけの習慣化
↓
- レストスペースの追加検討、スペース的に厳しい場合は新庁舎建設の折に検討材料に。

提 案 書

| | |
|--|------------------------------|
| プロジェクト名： 住民満足度の見える化 | 提案者：岡野 秀紀 |
| 1. ねらい・目的 お客様の視点からの満足度が見える化することで、職員のモチベーションアップや課題の解決を目指す、お客様により喜んでもらえる職場作りへ繋げる。 | |
| 2. 実施事項 ○住民さんに役場職員の対応についての満足度アンケートに回答してもらう。 ○交付等の窓口利用の際にアンケート用紙を渡す。(苦情等の対応案件でアンケートは難しいため) ○事務的負担が大きくなるので、2週間～1ヶ月くらいに期間を限定する。 | |
| 3. 詳細内容 1 我々はお客様に十分なサービスを提供できているのか？ ○お客様にさわやかな気持ちで帰ってもらえるような対応が出来れば理想であると思う。 ○しかし、現状十分なサービスを提供出来ているかは調査したことがないのでわからない。 2 現状把握のために ○現状の投書よりも簡易的な意見、例えば一職員の対応についての満足度、意見等を投書できるような簡単なアンケートを実施したい。(○だけつけるようなもの) ○性質上窓口での交付の際に行うのが実施しやすいと思うので、期間を限定して実施したい。 3 メリット ○満足度や不満点が見える化することで、良い点や課題の抽出が容易になる。 ○PDCA サイクル化することで、より良いサービスへ繋げていくことが出来る。 | |
| 4. コスト・予算等 ○アンケート用紙の費用。 ○集計の事務的負担の時間。 | 5. デメリット ○事務的負担の増加 |
| 6. スケジュール ○アンケート用紙配布期間（もしくは投書箱設置期間）を決める。 ↓ ○集計し、結果を公表 ↓ ○結果を見て、改善点を検討、実施 ↓ ○毎年アンケートを実施してより良くなるようにPDCA サイクル化する。 | |

提 案 書

| | |
|--|----------|
| プロジェクト名：世界的スポーツイベントの教育への活用 | 提案者：大家啓徳 |
| <p>1. ねらい・目的</p> <p>2019年、2020年のラグビーW杯、東京オリンピックを契機として、町内の小学生・中学生のスポーツに対する興味を持ってもらうこと。</p> <p>また、自国の選手を応援することで愛国心の育成にもつなげます。</p> | |
| <p>2. 実施事項</p> <ul style="list-style-type: none">・町内の小学生、中学生を対象に体育の授業の一環としてラグビーW杯や東京オリンピックでの日本代表戦を総合文化会館にて観戦します。・道徳教育などの授業等において、積極的にオリンピックに関する教材を使用していきます。 | |
| <p>3. 詳細内容</p> <ul style="list-style-type: none">・体育授業での日本代表戦の観戦 <p>2019年2020年のラグビーW杯や東京オリンピックの日本代表戦を体育の授業の一環として観戦します。</p> <p>観戦種目については、学校でも実施しやすい種目としてソフトボール、サッカー、体操などがいいと考えます。</p> <p>また、一過性のイベントとしないためにも、</p> <ul style="list-style-type: none">○会場内でスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブのチラシやパンフレットを配布○スポーツ界の著名人を招待し、小学生や中学生を対象とするスポーツ教室の開催 <p>以上を実施することで、スポーツに対する興味を持ってもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none">・オリンピックに関する教材の積極使用 <p>オリンピックなどの開催に向けて、日本中でスポーツに関する機運が高まっていく中で、オリンピックやW杯についての教材を道徳教育において積極活用していくことは生徒や児童に「考える」きっかけを与えることが出来ると思います。</p> <p>教材の例としては、2010年バンクーバー五輪での国母選手(スノーボード)の腰パン事件などはいいい教材になるのではないかと思います。</p> | |
| 4. コスト・予算等 | 5. デメリット |
| 6. スケジュール | |

【添付書類】

- ・和歌山県スポーツ少年団団員推移
- ・選手による学校訪問
- ・教材の例

提 案 書

| | |
|--|---------------|
| プロジェクト名：かつらぎいいね！っとわーくの構築 | 提案者：大植貴裕・大家啓徳 |
| <p>1. ねらい・目的</p> <p>かつらぎ100選のインスタグラムや花園のフェイスブックを今後町の広報に活用していくのが前提ですが・・・</p> <p>SNS においてイベントなどの広報をする際、フォローやいいね！の数が多ければ多いほど多くの人に知ってもらうことが出来ます。</p> <p>あらかじめ、かつらぎ町をいいね！やフォローしていただく企業、住民の方を増やし、広報基盤を構築し、SNS における広報効果を上げるのが目的です。</p> | |
| <p>2. 実施事項</p> <ul style="list-style-type: none">・かつらぎ町をいいね&フォロー促進キャンペーンの実施・町関係団体・企業との相互フォロー | |
| <p>3. 詳細内容</p> <ul style="list-style-type: none">・かつらぎ町をいいね&フォロー促進キャンペーンの実施 インスタグラムまたはフェイスブックにおいて、かつらぎ町のページをいいねまたはフォローしてくれた人を対象にフルーツなど町の特産品をプレゼントするキャンペーンを実施します。 もちろん、全員に対して配布することはできないので、合計100人目などある程度の節目を付けて実施することで、多くの方が、いいねやフォローしてくれるのではないのでしょうか。 一度、かつらぎ町自体をいいね&フォローすればその後のかつらぎ町からの投稿が友達やフォロワーに見てもらえることが出来るので、新たな広報基盤の構築につながります。・町関係団体・企業との相互フォロー 町内には多くのフォロワーを持っている企業もあります。 そういった団体・企業と相互フォローすることで、その企業のフォロワーにイベントを知ってもらうことが出来る。また、町内企業のPRにもつながり、町の産業振興にもつながるのではないかと思う。 | |
| 4. コスト・予算等 | 5. デメリット |
| 6. スケジュール | |

提 案 書

| | |
|---|--|
| プロジェクト名：フルーツ総括マーケット | 提案者：中井 將之 |
| <p>1. ねらい・目的</p> <p>かつらぎ町内の生産しているフルーツの総括販売を行うネットショップを創設する。高齢の方が多く、パソコン作業が堪能でない生産者（農家）に販売の場を提供できるうえ、全世界の消費者を対象とした巨大マーケットを形成できる事で農業の活性化を目指す。</p> | |
| <p>2. 実施事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ ネットショップの創設・ 生産者の登録募集 | |
| <p>3. 詳細内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ インターネット上で総括マーケットを作成し、かつらぎ町ホームページからリンクするようにする。（直売所のインターネット版）・ 他と差別化を図るため、手数料や登録料を無くす（又は極力安く）。 また、規格外のものであっても、訳あり商品として取り扱うことで廃棄を減らす。・ 販売を希望する生産者を募集する。・ 商品は注文が入った際に、生産者へ通知・生産者から商品発送とすることで、在庫を抱えずに生産者に販売の場だけを提供できる。 | |
| <p>4. コスト・予算等</p> <ul style="list-style-type: none">・ ネットショップの維持管理費用 | <p>5. デメリット</p> <ul style="list-style-type: none">・ 農協との兼ね合い |
| <p>6. スケジュール</p> | |

提 案 書

| | |
|---|---|
| プロジェクト名：花園・花いっぱい計画 | 提案者：岡野 秀紀 |
| 1. ねらい・目的 花園ふるさとセンターが花圃の里という新たな愛称を名付けられたとのことだが、意外と花の名所が少ない（しゃくなげ園くらい？）ので、もっとたくさん花を植えたらどうだろうか？交流人口増に繋がるのではないかと思う。 | |
| 2. 実施事項 ○道路の近くや公園等に花を植える。露天風呂から花が見えると面白いと思う。 ○トレッキングコースに植えるのも良いと思う。見渡す限り杉・檜では新鮮味に欠ける。 ○草花が難しいなら、桜や椿等の花を咲かす木を植えたなら管理はある程度楽になりそうである。 | |
| 3. 詳細内容 実施事項は上記のとおり。 花園って花がたくさんあるのですか？という電話を何度かあったことがある。 名前だけで印象付けられる、良い名前の地域なのに生かしきれていない感が強い。 センター改修で花圃の里ときっかけになる愛称がついたので、この機会に花園地域を花いっぱいにしてはどうか？観光客増につながるのではと思う。 特に温泉から花畑が見えるとか、春に花見の出来る温泉なんかは楽しい仕掛けだと思う。 | |
| 4. コスト・予算等 ○花の苗代、維持管理コスト ○町有地に植えるのが前提だが、適切な場所がないなら用地買収費、借地金 | 5. デメリット ○コスト面が一番である、最低限ペイ出来るくらいの経済効果がなければいけない。 ○花粉症の人には、悪影響である。 |
| 6. スケジュール ○花を植える箇所を選定 ↓ ○実際に植える。電気柵等野生動物等への対策を施す（特に鹿・猪の食害対策） ↓ ○花圃の里をはじめ、リニューアルした花園地域をPRする。 | |

提 案 書

| | | |
|--|---|-----------|
| プロジェクト名： かつらぎ町産ワインをつくる | | 提案者：岡野 秀紀 |
| 1. ねらい・目的 近年御所地域のブドウは大変美味だと大人気である。そこで、そのノウハウを生かしてワイン用ブドウ品種を栽培し、地元の酒造とコラボレーションをすることでワインを作りたい。 地酒はたくさんあるが、日本産ワインは未だ発展途上分野で希少性という付加価値がある。 ヒットすれば、農家さんと地元企業共に利益が見込める。 | | |
| 2. 実施事項 ○ワイン用ブドウ品種を栽培し、地元酒造にワイナリーになってもらう。 | | |
| 3. 詳細内容 実施事項は上記のとおり。 完全に思いっだけなので、フランスのブルゴーニュ地方で有名なピノ・ノワール等のワイン用の品種がかつらぎ町で育つか、現実的な問題はわからない。(ブルゴーニュ地方は夏場の平均気温が25度前後と涼しいらしい) 誰に聞けば良いかもわからない・・・ ただ、日本産ワインというのは東北の方では少しあるようだが、まだまだメジャーではない分野なので面白さはあると思う。 | | |
| 4. コスト・予算等 ○新植、改植するにあたり、役場が補助金を出すなら、その予算。 | 5. デメリット ○実際にワイン用品種のブドウがかつらぎ町で育つかはわからない。 ○ビジネスはなんでもそうだが、売れるかはわからないので博打の要素が強い | |
| 6. スケジュール ○ワイン品種のブドウが育つなら栽培 ↓ ○酒造でワインに ↓ ○たくさん売る。一番重要。 | | |

提 案 書

| | | |
|--|---|-----------|
| プロジェクト名： フルーツ王国のブランディング | | 提案者：岡野 秀紀 |
| 1. ねらい・目的 フルーツ王国かつらぎのブランディングを推進し、更なる振興をはかる。 | | |
| 2. 実施事項 ○パッケージデザインを統一してアイコン化とすることで、ブランディングを狙う。 ○ふるさと寄付金で送るフルーツ等で実験的に試してみる。 | | |
| 3. 詳細内容 ブランド化ということは具体的にどういうものかと考えたときに、まず思い当たるのはデザインの中のトレードマークとなるアイコンの存在だ。 ゴディバの製品にはゴディバ婦人が馬に乗っている様子が印刷されているからゴディバだとわかるし、ルイ・ヴィトンの製品にはモノグラムがプリントされているから、それだとわかる。偽物がまず真似るのもそのアイコンとなるモノグラムである。 そこでフルーツ王国かつらぎのアイコンとなるパッケージデザインを作成・統一し、ひとつのブランドとして全国にPRしたい。 | | |
| 4. コスト・予算等 ○デザイン料や印刷代 | 5. デメリット ○コストをかけて宣伝効果が薄かった場合、予算の無駄使いに終わる。 ○今あるパッケージの在庫が無駄になる。 | |
| 6. スケジュール ○デザインを決定 ↓ ○試験的にふるさと納税等で送る箱に使用 ←評判をどうチェックするかは課題・・・ ↓ ○最終的にはアンテナショップ等で販売している製品すべてに拡大。 | | |

提 案 書

| | | |
|--|---|-----------|
| プロジェクト名： 目指せ！ウェルカムファミリーの自治体 | | 提案者：岡野 秀紀 |
| 1. ねらい・目的 ミキハウス子育て総研が認定しているウェルカムファミリーの自治体選定事業の認定を目指す | | |
| 2. 実施事項 ○認定基準内の子育てしやすい町の条件を満たすよう環境を整備（要件は別紙資料参照） ○整備出来次第選定に応募 | | |
| 3. 詳細内容 ミキハウス子育て総研が行っているウェルカムファミリーの認定事業に認定されることを目指す。子育てブランドとして大手のミキハウスに子育てしやすいと認定を受けているという安心感＋ミキハウスのメディア媒体のPR効果を借りることで、全国的に子育てしやすい町かつらぎ町をPRすることが出来る。 関西では未だ認定された自治体がないので、先進性という付加価値も付いてくる。 | | |
| 4. コスト・予算等 ○選定費用に最低 100 万円（税別）5 年毎に更新（最低額で年 20 万円（税別） ○応募に至るまでの条件の整備（町営住宅の整備や就労支援等）にもコストがかかると予想される。 | 5. デメリット ○費用対効果があるか、先進事例が少ないが故のデメリットである。 | |
| 6. スケジュール ○ミキハウス子育て総研が公開している認定条件を満たす施策を実施 ↓ ○選定を依頼 | | |

【添付書類】

- ・ウェルカムファミリーの自治体選定事業開始のお知らせ（ミキハウスの事業要綱）

提 案 書

| | |
|---|-----------------|
| プロジェクト名： 子育てしやすい町づくり 「みんなが集まる公園づくり」 | 提案者：山口 佳子・尾鼻 佐規 |
| 1. ねらい・目的 <ul style="list-style-type: none">・かつらぎ町で生まれ育っていく子ども達を大切に、いつまでも住み続けたいと思えるような町づくりを目指します。まずは、子ども達がのびのびと遊べる環境を整備することで、子ども同士・親同士の輪を広げます。さらに、子育てしやすい町かつらぎ町としてのイメージアップを図り、人口増加に繋がります。・かつらぎ町に住む親子に遊び場の情報発信をし、かつらぎ町の良さを知ってもらいます。 | |
| 2. 実施事項 <ul style="list-style-type: none">・かつらぎ公園の整備（全面芝生化にするに伴って、屋根のあるベンチや周りの環境の整備等） | |
| 3. 詳細内容 <p>子育てしやすい町づくりとはなにか？ ⇒まずは、環境を整えてあげることが大切だと考えます。 子ども達がのびのびと遊べる環境づくり、遊び場の見直しが必要です。</p> <p>【保育士業務を通じて感じたこと】 かつらぎ町の数ある公園で遊ぶ子どもの減少。 …ゲームや室内遊びが増える中、広い公園などでしっかりと体を動かして、自然の中で様々な経験をする機会が少ない。 …親子で利用する人も少なく、他の市町村の大きな公園や整備された目新しい公園へ流れている。</p> <p>【問題点】 町内には、年齢の違う兄弟や友達と一緒に遊べる公園がありません。 …子ども達は、年齢により楽しさを感じる遊具・施設には差があります。 かつらぎ公園には、小さい年齢向けの遊具はあるが、大きい年齢の子ども達には物足りない。 ⇒町内に公園は数多くありますが、実際に遊びに行くとなると、町外の公園に行くという声をよく聞きます。もう一度公園の整備や遊具の見直しをして、かつらぎ町でも他の親子と交流を持てるような遊び場が必要だと考えます。</p> | |

【整備内容】今ある設備等を再利用しながら子ども達に魅力のある、新しい公園に!!

- ・自然の中で体を動かす楽しさが出てくるもの、外で遊ぶ楽しさが感じられる環境づくり
- ・全面芝生化計画に伴い、きれいな芝生の上で大きい年齢の子ども達がボールや運動遊具等を使って遊べる広い場所の確保。その横で小さい年齢の子ども達が遊具に挑戦する環境
- ・暑い日でも日陰で休憩できたり、屋根のあるスペースで雨の日も気分転換できる環境等

4. コスト・予算等

- ・芝生化に伴い、環境の維持
- ・屋根のある休憩スペースの設置

5. デメリット

6. スケジュール

【添付書類】

- ・理想の公園で、こどもも大人もリフレッシュ！（インターネットから引用）
- ・水尾公園（遊具を置くのは難しいし、かつらぎ公園にここまで広い場所もないので無理かなと思いますが、こんなアスレチックがあればいいなと思い、添付しました。）

提 案 書

| | |
|---|-----------------|
| プロジェクト名：ママ MAP | 提案者：山口 佳子・尾鼻 佐規 |
| 1. ねらい・目的 かつらぎ町には、いいところ・遊び場があるにも関わらず、知らないお母さんたちが多いです。安心して遊べる場所等をまとめ、情報発信することで、子育てしやすい町かつらぎ町としてイメージアップを図り、人口増加に繋がります。 | |
| 2. 実施事項 ・親子目線のかつらぎ町の情報MAPの紹介 | |
| 3. 詳細内容 かつらぎ町に住んで良かったと思えるような、また、かつらぎ町の自然やまちを愛してもらえるような内容にします。 【ターゲット】 ・保護者 ・結婚等を機に、かつらぎ町に引っ越してきたお父さん・お母さん 【掲載内容】 カフェ、子どもの遊び場、自然体験など 【工夫する点等】 どこにどんな公園があるのか、どこでどんな植物や生物が見られるのか、どこに良い遊び場があるのか...等、ちょっとした手に持ちやすいMAP、子どもと一緒に見られるような、手書き風の温かみのあるMAPにする。 ・子ども連れokや、赤ちゃん連れokなどの情報 ・母親同士ゆっくり話せる場所等の紹介 ・スタンプラリーなどを盛り込んで、遊び感覚で利用する。 ・転入してきた親子に参加してもらおうバスツアーなどを開催し、MAPを活用する。 ・MAPは地域ごとに分けて詳しく紹介。 【ガイドブックにするなら、こういうところに置いてもらいたい】 ・子育て支援センター ・町内のこども園 2園 ・役場玄関 | |

- ・産婦人科（小児科）
- ・公民館

【メリット】

- ・今ある資源を最大限に活用し、子育て支援に役立てます。
- ・ママMAPを見て、町内に出歩くことで、かつらぎ町に引っ越してきたお母さんや、育児に悩むお母さんたちが孤立してしまうのを防ぎます。

4. コスト・予算等

- ・ガイドブックにするなら作成費用
- ・ホームページにリンク付けしてもらえたら…

5. デメリット

6. スケジュール

- ・MAPをつくるための取材等。
- ・支援センターに協力依頼・話し合いの場を持つ。
- ・MAP作成

【添付書類】

- ・あまのMAP

提 案 書

| | |
|--|---------------------------------|
| プロジェクト名： 片付けのやり方教えます！ | 提案者：岡野 秀紀 |
| 4. ねらい・目的 片付けのやり方を体系的に解説することで、今までよりも効率的に片付けが出来るようになり、個人の生産性のアップを狙う。 | |
| 5. 実施事項 ○片付け士 小松 易先生の理論をベースにまちプロで「片付けのやりかた」を作成 ○職員の皆さんに実践してもらい、片付けの効果を実感してもらおう。 ○個人の生産性のアップや、時間の浪費を抑えることが出来る。 | |
| 6. 詳細内容 1 はじめに 片付けのやりかたを習ったことはありますか？恐らく多くの人はないはずです。皆さんそれぞれ独自のやり方をお持ちかと思いますが、片付け士として活躍されている小松 易先生の著書の理論をベースに改めて体系化された片付けのやりかたを学んで欲しいと思います。 2 まちプロで作成した「やりかたの実践」 職員の皆さんにまちプロで作成した片付けのやり方を配布・実践して頂いて、片付けることの効果を実感してもらいます。 3 アンケートで職員の皆さんの意見をフィードバック その後、アンケートにて効果の測定とまちプロへのフィードバックを行いたいと思います。 | |
| 4. コスト・予算等 ○まちプロのメンバーで考えるので、予算措置は必要ありません。 | 5. デメリット ○特段ないと思われます。 |
| 6. スケジュール ○ガイドライン作成（可能な限り早く）→総務課に依頼し、掲示板に掲載→片付け実践（期間 2週間程度）→アンケート実施→集計・フィードバック | |

【添付書類】

・片づけガイドブック vol.1~vol.3